

TYPE OF INDUSTRY

# サミット生かし産業底上げ

三重県は小規模事業者の支援に力を入れている。2014年4月に始めた支援制度「三重県版経営向上計画」を活用し、経営課題の洗い出しから事業計画策定、資金調達までをきめ細かく支援する。5月に志摩市で開かれる主要国首脳会議（サミット）で県の知名度が上がるのを追い風に、県内産業の底上げを狙う。

（三重支局長・堀信一）

三重県版経営向上計画はまず、企業の課題を抽出して経営課題を解決するプランを立てる。その後、より詳細な計画を策定。この際、小規模事業者のみが専門家派遣を3回まで無料で利用できる。こうしたステップを経て、最終的には実行計画を立てる。この計画が県から認定されれば県の支援制度に基づく融資が受けられる。

## 三重県版経営向上計画



◀みえリーディング産業展のブースでも三重県版経営向上計画をPR



ツクスを一本のボールに組み込んだ新製品を1日に発売した。阪田邦雄社長は「全国各地の自治体に販路を広げると意気込む」。

三重県版経営向上計画の認定企業は16年1月末で前年同期比105件増の170社。ただ、県内には小規模事業者が4万8000社あり、まだまだ利用度を上げる余地はある。このため県では「もっと知ってもらうよう各商工会などに呼びかけていく」

（広田恵子）

## 小規模事業者を支援

### 認定企業、新製品開発に弾み

小規模事業者のみ、設計トする。エス・アイ備のリース料率が優遇される制度が利用できる。この制度を活用し、インストラクターり出せる防災製品「地震解錠ボックス」を改体との連携も深め、経営支援センターの営業指導員による経営計画の作成セミナーを

震度5以上の揺れを感知するとボックスが解錠され中から鍵を取会や金融機関などで地震解錠ボックス」を改体との連携も深め、経営支援センターの営業指導員による経営計画の作成セミナーを

犯灯、誘導灯、解錠ボ増やす。

## 中小企業・地域経済

### 中小支援 最前線

三重県志摩市で5月26、27の両日に、先進国首脳会議（サミット）が開かれる。知名度向上を好機とし「サミット開催地の県南部地域の経済を活性化させたい」と意欲を示す。

三重県は北部に自動車、電機・電子、石油コンビナート関連などのモノづくり企

業が集積する。一方、県南部は旅館・ホテルなどの観光産業が主力。技術を持ったモノづくり企業もあるが、支援が十分ではなかった。

2月には、津支店で初めて単独で県内の融資先380社を対象に業績見通しと経営課題を調査した。回答を得た160社のうち7割以上の企業が現状維持か良くな

日本政策金融公庫 津支店 中小企業事業統轄 後藤 進氏



る傾向と答え、人材育成や販路拡大に意欲を持つ企業が多いことも分かった。

調査結果を参考に、海外展開や新規事業開拓、企業再生を柱にした支援を展開する。22日に取り扱いを始めたインバウンド需要を取り込む企業を対象とした融資制度や、財務診断を提供していく。

▷所在地=津市万町津133  
▷電話=059-227-0251

## サミット契機に県南活性化

情報フラッシュ

◆インド投資セミナー  
三重県 シェトロ三重、在大阪・神戸インド総領事館と共催で、3月18日13時から津市の三重県文化会館で「インドビジネス・投資セミナー in 三重」を開く。比良竜虎在日インド商工協会理事長

（HMIホテルグループ社長）ら3人が講演する。参加無料、定員70人。締め切りは3月16日。問い合わせは雇用経済部国際戦略課（059-224-2499）へ。

◆指導者養成講座  
三重県環境学習情報センター 3月27日14時から三重県四日市市の四日市市総合会館で

指導者養成スキルアップ講座「日本の宇宙開発の未来」を開く。宇宙航空研究開発機構（JAXA）イブシロプロジェクトプロジェクトの岡田修平氏が宇宙開発の現状と未来について解説する。参加無料、定員100人。事前申し込みが必要。締め切りは3月21日。問い合わせは同センター（059-329-2000）へ。



自動車や電子機器、産業用機械向け精密部品の旋削加工を手がける。付加価値の高い仕事をしたいとの考えか

### その加工 おまかせあれ!

精密部品旋削

高洋電機 高祖 洋会長

ら2012年に難削材の加工に乗り出した。50台の小型精密旋削機を使い、直径3ミリの20ミリの難削材（純タンクステンなど）の加工対象物（ワーク）を3ミリの（マイクログラフ）は100万分の1の精度で旋削加工する。難削材の精密部品で月産7000個の加工実績を持つ。

現在、同社に持ち込まれている案件は、医療器具の加工に活用できる旋削のみに立つ高祖洋会長

初の日産量産品に挑戦

（三重県玉城町、0596-58-2121）

の加工に乗り出した。50台の小型精密旋削機を使い、直径3ミリの20ミリの難削材（純タンクステンなど）の加工対象物（ワーク）を3ミリの（マイクログラフ）は100万分の1の精度で旋削加工する。難削材の精密部品で月産7000個の加工実績を持つ。

現在、同社に持ち込まれている案件は、医療器具の加工に活用できる旋削のみに立つ高祖洋会長

め 2016年度当初予算案に約1500万円を盛り込んだ。同跡地周辺では21年春の利

て広く使われている。宇都宮市大谷地域には大谷石の採取場跡地が約250カ所あり、温

キーを使い、農産物などの保冷貯蔵を実現するとともに電気代などの節約にもつなげる。

目的 同連合会の若手グループ「熊志会」メンバーなど4県の若手経営者を中心に25人程と意気込んでいる。

市長は「さまざまな業種との連携を作りたい」